

資源が乏しい国におけるARTを受けていない HIV感染女性が授乳する場合の母子感染リスク

- 感染率は、母親のCD4+細胞数、ウイルス量、授乳期間によって異なる¹。

| 伝播時期別の絶対的HIV母子感染率の推定値 (感染予防対策なしの場合)、% | 授乳 | | |
|------------------------------------------|-------|-------|-----------|
| | なし | 6カ月まで | 18~24カ月まで |
| HIV伝播時期 | | | |
| 妊娠中 | 5-10 | 5-10 | 5-10 |
| 分娩中 | 10-15 | 10-15 | 10-15 |
| 授乳中 | 0 | 5-10 | 15-20 |
| 全体 | 15-25 | 20-35 | 30-45 |

- 資源が乏しい状況では、WHOはHIV感染者である母親に対して出生後6カ月間は母乳のみを与え、その後も少なくとも12カ月間は補完食と併用しながら授乳を継続するよう推奨している。
- 伝播リスクを低減させるために、可能な限りARTを実施すべきである。